



校長室だより

3学期心に残った3つのエピソード



3学期後半インフルエンザによる学級閉鎖が発生し感染拡大が心配されましたが、その後大きな広がりもなく、また、コロナの学級閉鎖措置もなく何とか後期選抜試験を乗り切り、明日の卒業式を迎えることが出来ました。約3ヶ月に渡る感染対策へのご協力本当にありがとうございました。この様な中、今年度最後の終業式は全校が体育館に集まり、次の様な話をさせていただきました。

「中中を支えている見えない姿」と「3年生の素敵な姿」

おはようございます。冬休み明けから今日までの約3ヶ月、登校日数47日間の3学期も、いよいよ明日の卒業式を残すのみとなりました。3学期は新型コロナ感染は徐々に治まりつつあるなか、インフルエンザの流行が始まり、中込中学校でもインフルエンザによる学級閉鎖が初めて行われるなど大変厳しい学期となりましたが、3年生の高校入試に向けて何とか受験体制を整えながら乗り切った約3ヶ月となりました。全校の皆さんや保護者の皆様、先生方の協力のおかげで、中込中はこの3年間新型コロナウイルスによる学級閉鎖がなかった佐久市内小中学校24校の中で、唯一の学校でした。ここまでコロナの集団感染が起らず、後期受験もほとんどの3年生が無事終えることができたこと本当に嬉しく思います。不自由なことも沢山あったかと思いますが、みんなで乗り越えられたことに感謝します。

さて、3学期を振り返ってみると短い期間でしたが、心に残った出来事が沢山ありました。今日はその中の3つを話したいと思います。

1つ目は、2月に久しぶりに雪が積もった時のことです。今年度も雪がほとんど積もらず、中込中で雪かきを使ったのは数えるほどでした。この様な中、今年唯一10cm以上雪が積もったのは2月10日(金)の昼から夕方にかけてでした。私は心の中で「日差しもだいぶ強くなってきているし、金曜日の夕方だから土日をはさめば月曜の朝には多分溶けているから雪かきはやらなくても大丈夫かな」そんな気持ちで土日を過ごしていました。月曜の朝、登校してみるとやはり校舎の周りにはほとんど雪はなく、日陰に少し残っている程度になっていました。この時は「やっぱり予想通りだったか」と思っただけでしたが、校舎南側や昇降口前の雪が無くなっていた理由を知ったのは、その日の午後行われた新入生中学校説明会で荻原先生の話聞いた時でした。雪が無くなっていたのは土曜日の午前中、男子バレー部や卓球部の1～2年生部員が自主的に雪をかいてくれたのだそうです。この事は、丁度月曜日に新入生への中学校説明会があり、荻原先生が先輩の素敵な姿として、この写真を使って紹介して下さいました。私も初めて知りました。この話を聞いて、「中込中では私が気づかないだけで、この様な素敵な姿がきっと沢山あるんだ、この様な目に見えてこない姿に支えられて今の落ち着いた学校生活が成り立っているんだ」という事に改めて気づかされました。この様な素敵な活動が当たり前に来ている部活動と、そんな姿に気づき新入生中学校説明会で新入生やその保護者の皆さんへ紹介して下さいました荻原先生に改めて感謝の気持ちで一杯になりました。



【土曜日の朝、自主的に雪かきをする1～2年生部員】

<裏面に続く>

2つ目は2月後半からコロナとインフルエンザの両方が流行り始め、3年生を中心に先生方がしばらく学校を休んだ時のことです。たまたま担任の先生が約1週間休んでいる中、校長室掃除の3年生K・Sさんに「最近先生がいないけどクラスはどうですか？」と尋ねてみました。するとK・Sさんは、「大丈夫です。O組も成長したと思います。」という返事が返ってきました。後期選抜入試直前で、精神的にも落ち着かない中、担任の先生が1週間休んでいても何事も無い様に過ごしながら、自分達のクラスの成長を実感し語れるK・Sさんを本当に頼もしく思いました。また、3年生に纏わるもう一つのエピソードがあります。3年生は例年希望者を募って10月中旬から毎週水曜日午後に「放課後学習」を行って来たのですが、その最終回が3月1日(水)にありました。そこで学習ボランティアをして下さっている地域の方から次の様な言葉をいただきました。「今日は最後の放課後学習でしたが、最後まで集中して取り組んでいましたね。多分前期選抜で合格した子だと思いますが、最後まで参加して教え合っている姿があり感動しました。」前期選抜が終わり合格が内定しているにもかかわらず、最後まで放課後学習に参加する3年生と、更に仲間と関わりながら学び合う3年生の姿に中学校3年間の成長を改めて感じました。

最後3つ目は、昨日行われた「3年生を送る会」です。2年生の新役員のみなさんが中心となって初めて企画した大きな学友会行事でした。今年は2月後半からコロナとインフルエンザが流行しはじめ、全クラスの足並みがなかなか揃わないなか企画運営し、本当に大変だったと思いますが、全校で協力して心温まる素敵な時間を創り上げることができました。今年の2年生学友会は「信州一の学友会」を目指しています。人のために動ける学友会最初の一歩として、今年の3年生のために、あのような素敵な贈る言葉や出し物がプレゼントされました。1～2年の学年合唱は音楽会の時より一段成長し、何と云っても3年生の「サザンカ」は胸に迫るものがあり、「さすが3年生」と改めて思いました。先生方の出し物も最高でしたね。笑いあり涙あり、サプライズありで中込中の絆がより深く、太く結び、つながった素晴らしい「3送会」になりました。



【1年生が紙吹雪の形を工夫したこだわりのくす玉】

最後になりましたが、3学期始業式で話した3学期のキーワードを覚えている人はいますか。3学期のキーワードは「今日1日を大事に過ごす」でした。様々な出来事があった3学期でしたが、かけがえのない1日1日を「今日も1日やりっきた!」と感じながら生活できたでしょうか。

さて、明日の卒業式は昨年に引き続き在校生も参加する卒業式になります。今までの準備の成果を発揮して、今年ならではの、3年生にとって一生に一度の思い出になる素晴らしい卒業式を創り上げましょう。そして、明後日からの春休みでは、気を抜かずコロナとインフルエンザの感染予防を心がけながら、4月からの生活に備え準備をしっかりとしましょう。家の方や地域の方々と、仲良く、安全に楽しく過ごしてください。4月の入学式には、また、今日のような元気な顔で、それぞれ新たな場所に集まりましょう。

以上で3学期終業式の話を終わりにします。

「今日も1日自分はやりきったか」家に帰って毎晩この言葉を自問自答しながら眠りについた3学期でした。3学期47日間は過ぎてみれば「あっ」という間でしたが、この感覚は自分自身の教職生活と重ねても全く同じでした。私事になりますが、今年度末をもって38年間の教職を終えます。過ぎてみれば本当に「あっ」という間の38年間でした。この間出会った多くの子ども達、先生方、保護者の皆様、地域の皆様に恵まれ、何とか教職人生を全うできたこと本当に感謝しております。最後の勤務校が「中込中学校」だったことを誇りに思います。生徒の皆さんが来年度からも「中込中生徒」の一員として誇りをもって「信州一の中学校」を目指し活躍することを願っています。新年度は教職員スタッフが一部代わりますが、「全ては子ども達の笑顔のために」の想いは変わりません。今後も全職員情熱をもって取り組んでいく所存です。引き続きご支援ご協力をよろしくお願い致します。1年間、そして、4年間お世話になりました。様々なご支援ご協力本当にありがとうございました。(文責：大西孝一)

佐久市立中込中学校
*ご意見、ご要望、お問い合わせなどは、下記までお寄せ下さい。
TEL 0267-62-0725
Fax 0267-62-2876